



おおい
こんな所で
昼寝するん
じゃない

いいいのか？
僕の好きなように
してしまおうぞ

ふふふふふ…
思った通り
かなり大きいな

ふん,

んっ…

いねむり
がこち
夏木
まふんと



ひく...

よく見たら
なかなか
かわいい子
じゃないか

よし キミを
次の小説のヒロインに
してあげようじゃないか
...え エロ小説だけどね



ほほお...
ここもきれいだね
やはりヒロインは
処女でなくては

にち
や



は...あ...
トロ..



起きないな...
これは僕の小説の為に
操を捧げると取って
いいんだね?

んっ...



う……うあああっ！
すばらしいっ！
膣のヒダが吸い付くように
僕を奥に引き込むっ

ぺくん

あ……

ふん……

ズズズ

あ……

はまよ……は

はあ……

そして母性あふれる
この包み込むような感触っ
まさにヒロインの
おまんこじゃないか……っ！

アッ……

ちゅ

アッ……

ひゅ……

み 未体験だこんなのっ!
すこい...すこいぞっ!
耐えられない...っ!

めが
ははは
ははは

あっあっ!

いっ...あっ

あああっ!
で出るっ!
出るよっ!

びゅっ!
びゅっ!
びゅっ!

うう...ん...あ!
あああああっ!

ヒッ
ホッ

ほら
全部キミの体内に
取り込むんだ

うう...う

ほっ

ああ...
僕の精液がここに
残ったままだ...
もったいないだろ?
な?



かば

いっけない
居眠り
しちゃった!

しゅる、



……

なごちー!



ポタッ

もーなごち
どこいったんだろ?
おーい!

ごめんなさーい!
今いくー!

